

東郷元帥記念公園改修工事検討協議会（第23回）

- ① これまでの検討経緯
- ② 報告事項
 - 1) 前回協議会でのご意見に対する回答
 - 2) 今後の工事予定
 - 3) ライオン像の補修
 - 4) 震災復興サインの設置
 - 5) 第2回イベント開催報告
 - 6) 下段広場の利用状況について

令和5年7月18日

1 これまでの検討経緯

平成 27 年度から現在までに 22 回の協議会を実施してきました。第 23 回協議会では今後の工事予定、ライオン像の補修、下段広場の利用状況等について報告します。

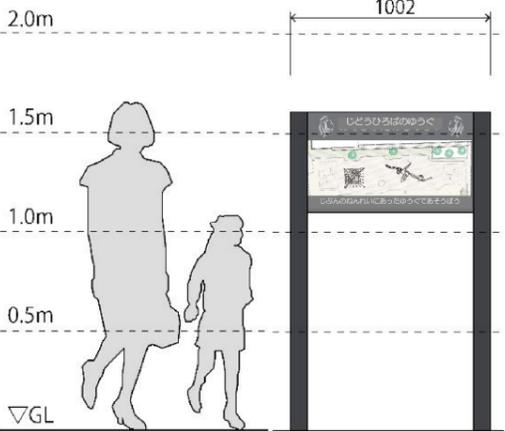
	平成 27 年度				平成 28 年度						平成 29 年度			平成 30 年度		令和元年度		令和 2 年度		令和 3 年度				令和 4 年度			令和 5 年度
	基本設計				実施設計						協議調整			工事監理		修正設計		工事監理									
	2015 年		2016 年		2017 年		2018 年		2019 年		2020 年		2021 年		2022 年		2023 年										
	第 1 回 (12.10)	第 2 回 (12.21)	第 3 回 (1.25)	第 4 回 (3.15)	第 5 回 (4.26)	第 6 回 (6.28)	第 7 回 (8.9)	第 8 回 (10.18)	第 9 回 (11.15)	第 10 回 (2.15)	第 11 回 (4.25)	第 12 回 (7.4)	第 13 回 (1.11)	第 14 回 (8.7)	第 15 回 (2.6)	第 16 回 (10.29)	第 17 回 (2.13)	第 18 回 (8.7)	第 19 回 (9.8)	書面 報告 (7.6)	第 20 回 (11.15)	第 1 回 イベント (11.27)	見学会 (3.31)	第 21 回 (6.7)	第 22 回 (11.2)	第 2 回 イベント (12.4)	第 23 回 (7.18)
協議 項目	コンセプト	現地見学会			基本設計決定																						
	ゾーニング	現地見学会			基本設計決定																						
	動線計画	現地見学会			基本設計決定																						
	植栽計画					実施設計決定						改修プラン決定															
	施設整備計画					実施設計決定						改修プラン決定															
	舗装計画					実施設計決定						改修プラン決定															
	照明計画					実施設計決定						改修プラン決定															
	土壌対策 樹木対策					実施設計決定						改修プラン決定															
調査	樹木調査					2016.7 樹木簡易診断調査						2019.9~12 樹木調査															
	ボーリング調査					2016.7 土質調査						2018.7~12 土壌調査															
	土壌調査					2016.7 土質調査						2018.7~12 土壌調査															
工事	東郷公園 工事											2018.7~工事中断		2020.4~下段広場工事再開		下段広場利用再開				2022.4~ 上中段広場工事							
	九段小校舎 整備工事											2018.9~開校															
確認された 内容	設計コンセプト ・歴史性の継承	継承すべき施設 ・現状の公園の課題	斜面形状 ・遊具配置 ・歩行計画の改善	基本的な動線計画 ・ゾーニング ・斜面形状	斜面の使い方	基本的な形状(案案)	全体計画 ・基本的な形状詳細 ・自転車スペース	下段広場ベンチ ・転落防止柵 ・公園の禁煙	ウッドデッキ位置 ・子供の遊び場事業 ・アダプト制度導入	各広場の施設の配置	全体計画 ・遊具	遊具の安全性、配置、維持管理	施設計画 ・工事計画 ・工事の住民への周知方法	土壌汚染と今後の調査方法	土壌汚染の対応策 ・樹木保全に対する陳情	土壌汚染と保全樹木の取扱い方針	土壌汚染と保全樹木の取扱い方針の決定	デッキ方針(縮小案)の決定	全体計画 ・平面図の決定	公園改修 修正内容 ・今後の工事予定	イベント開催検討 ・保全樹木に関する設計変更 ・トイレ開放時間	デッキ焼印体験 ・デッキサインイベント等	下段広場	工事現状等の報告 ・遊具及びイベント開催等	下段広場状況 ・上中段広場計画 ・第2回イベント等	焼き芋づくり体験 ・薪割り・ストープコーナー ・公園紹介コーナー他	今後の工事予定 ・ライオン像の補修 ・公園施設変更 ・下段広場利用状況等

今回協議会

2 報告事項

1) 前回協議会でのご意見に対する回答

前回の協議会において頂いたご意見と回答は以下のとおりです。

	ご意見	回答 (※本日の議題項目)
①	<p>◆遊具案内サインの表示内容について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・遊具案内サインの表示内容は「じぶんにあったゆうぐであそぼう」等の方がよいのではないのでしょうか。 ・遊具案内サインは小さなお子さんが利用するものだと思うので、位置が高すぎるのではないかと思います。  <p>サインデザイン案 (第 22 回協議会資料より抜粋)</p>	<p>・遊具案内サインは、当初は遊具の配置と各遊具の対象年齢を表示する予定でしたが、頂いたご意見を参考に再度掲示内容を検討した結果、以下の理由により設置しないことになりました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○子供が見渡せる範囲に遊具が設置されている。 ○対象年齢表示は、各遊具に年齢表示シールを貼付することで対応できる。
②	<p>◆ベンチについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・砂場の脇のベンチは、長時間砂場で遊ぶ子どもが多いので、妊婦さんや高齢の方がゆっくり座れるように背もたれのある椅子に整備して欲しい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・砂場脇のベンチを背もたれ付に変更しました。 ・その他遊具がある上段広場に設置するベンチ、中段広場の植栽樹のベンチ等も背もたれ付としました。(次頁整備イメージ②参照)
③	<p>◆砂場の整備について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・車いす使用者は、遊びに集中すると熱中症になりやすいため、日陰があると大変助かる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・砂場の砂を衛生的に保つため、砂場はなるべく日当たりのよい場所とする必要があり、常設の日よけを整備することはできませんが、砂場の南側にベンチ付きのパーゴラを設けていますので、そちらで適宜休憩しながら遊んでもらえればと思います。 ・夏場の暑さ対策として、仮設の日よけの設置を検討します。
④	<p>◆防災倉庫について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・防災倉庫について具体的にはどのような防災倉庫になるのか、イメージ写真等がみたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・防災倉庫は現況と同じく二七通り沿いに設置しますが、以前より開放的な明るい空間として整備します。(次頁整備イメージ④参照)
⑤	<p>◆ちよくるについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ちよくるについて本当に2か所必要なのか。元々上にはなかったはずのものを新たに設置する必要はないのではないか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自転車利用の来園者が多いことから、駐輪場を下段広場(学園通り沿い)と中段広場(二七通り沿い)にそれぞれに設置することになったため、ちよくるについても2箇所に分けて設置することになりました。(次頁整備イメージ⑤参照)
⑥	<p>◆ライオン像について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今まではライオン像の周りにはヒイラギの葉があったため入らないようにしていたが、子供たちは果敢に入っていた。どんな形であれ、ライオン像に乗る子供たちは必ず出てくるので、乗ることを前提にして考えていただいた方がよいと思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ライオン像は現況の姿を少しでも長く保全できるよう補修を行います。 <p>※補修内容については、本協議会の2報告事項の3)にて報告します。</p>

2 報告事項

2) 今後の工事予定

(1) 工事工程案

- ・令和4年4月1日より下段広場を開放し、上・中段広場を閉鎖し、上・中段広場工事に着手していました。
- ・上・中段広場工事を進めていく中で、以下の理由により、完成予定を令和8年3月31日まで延伸することとなりました。

- ①上・中段広場の樹木に対する住民要望等があり、東側道路の沿いのクスノキについて再度保全の検討協議を行ったこと。
- ②九段小学校との境にある土留めの沈下及び劣化が確認されたため、調査検討を行い、現況土留めを撤去し、新たに擁壁を設置する工事を追加することになったこと。
- ③上段広場の盛土層の地盤状況が想定より悪いことが確認されたため、施設構造の確認見直しを行ったり、対応のための時間を確保したこと。

- ・今年度中に基準値超過土壌の除去、良質土による埋戻しを行い、土壌対策工事が完了した区域から公園改修工事を行っていきます。
- ・令和6年4月より仮設通路を開放する予定です。

表 東郷元帥記念公園改修工事の工事工程案

▽本日(7/18)

項目	令和4年度 (2022年度)				令和5年度 (2023年度)				令和6年度 (2024年度)				令和7年度 (2025年度)			
	6月	9月	12月	3月	6月	9月	12月	3月	6月	9月	12月	3月	6月	9月	12月	3月
協議会他	◆第21回協議会		◆第22回協議会		◆第23回協議会											
	■第2回イベント															
	土留め調査・検討															
	地元調整															
上段・中段 広場工事	撤去工事				土壌手続き・準備工事				9月中旬～土壌対策工事				擁壁工事			
					仮設通路工事								公園改修工事			
													上段広場先行開放検討中			
													公園完成予定			

2 報告事項

(2) 東側道路沿いのクスノキの取り扱いの変更

<再検討の経緯>

- ・東側道路沿いの2本のクスノキについて、当初計画では、地区計画の歩行者空間内に位置することから伐採予定となっていました。
- ・樹木に対する住民からの要望あり再度検討を行うことになりました。

<検討結果>

- ・樹木の専門家に現況を確認して頂き、その結果を基に計画案を作成し、地区計画担当課と再協議を行いました。
- ・協議の結果、右図中 No.127 のクスノキについては、歩行可能な空間が最低 50 cmは確保できることから、クスノキの周りに仮設の土留め設置し保全することになりました。
- ・右図中 No.130 のクスノキについては、歩行者用空間を確保することが難しいため当初計画どおり伐採することになりました。跡地には、伐採後区域内の基準値超過土壌をすべて入替えることができるため、新たに東郷桜*を植える予定です。

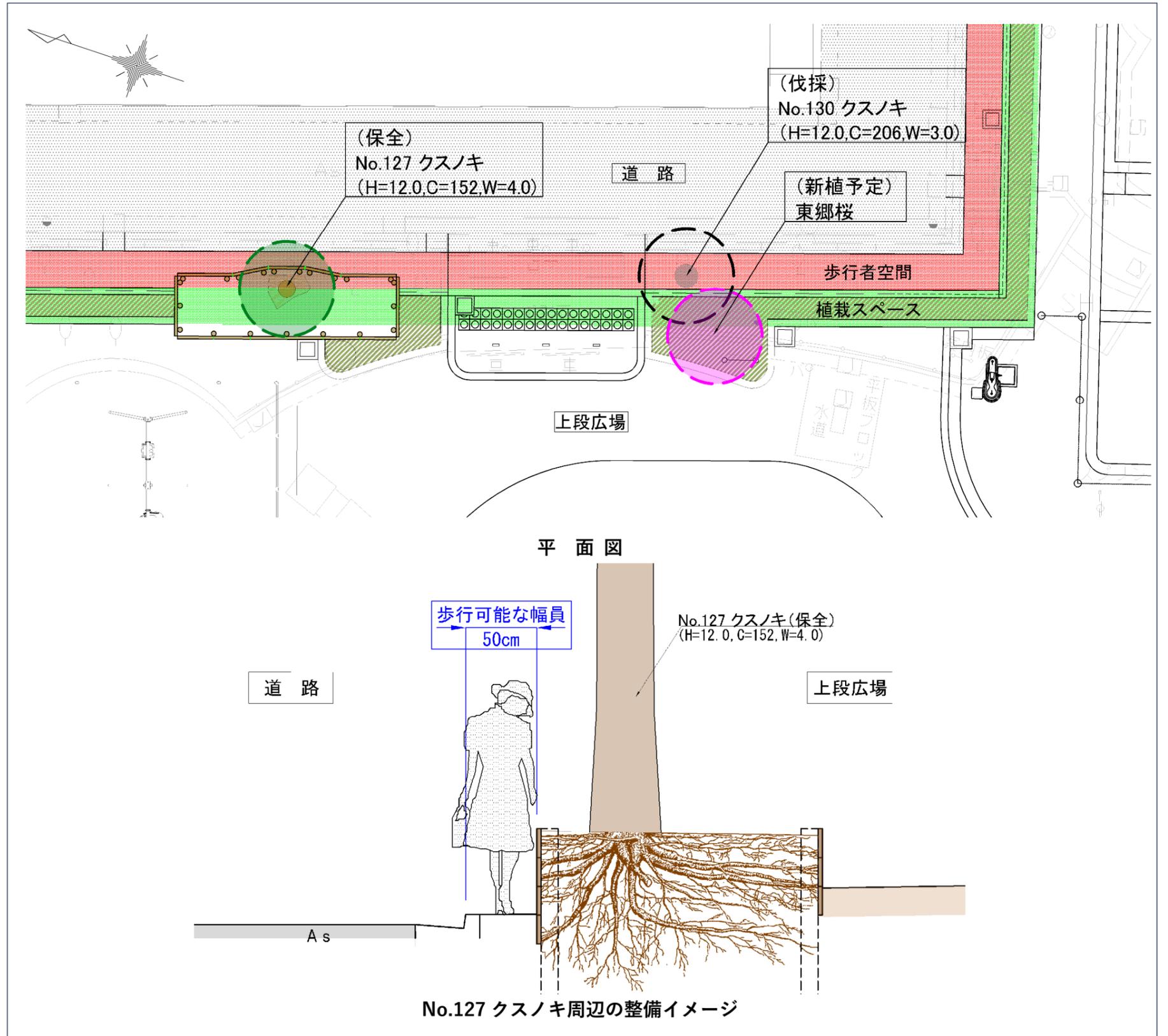
※東郷桜

下段広場にて伐採した樹木の穂木を接ぎ木して育てたソメイヨシノ（現在の高さ 4.0~4.5m）



保全したクスノキの現況

■クスノキ保全計画案



2 報告事項

(3) 小学校側の法面内の擁壁工事

① 既存土留めの現状

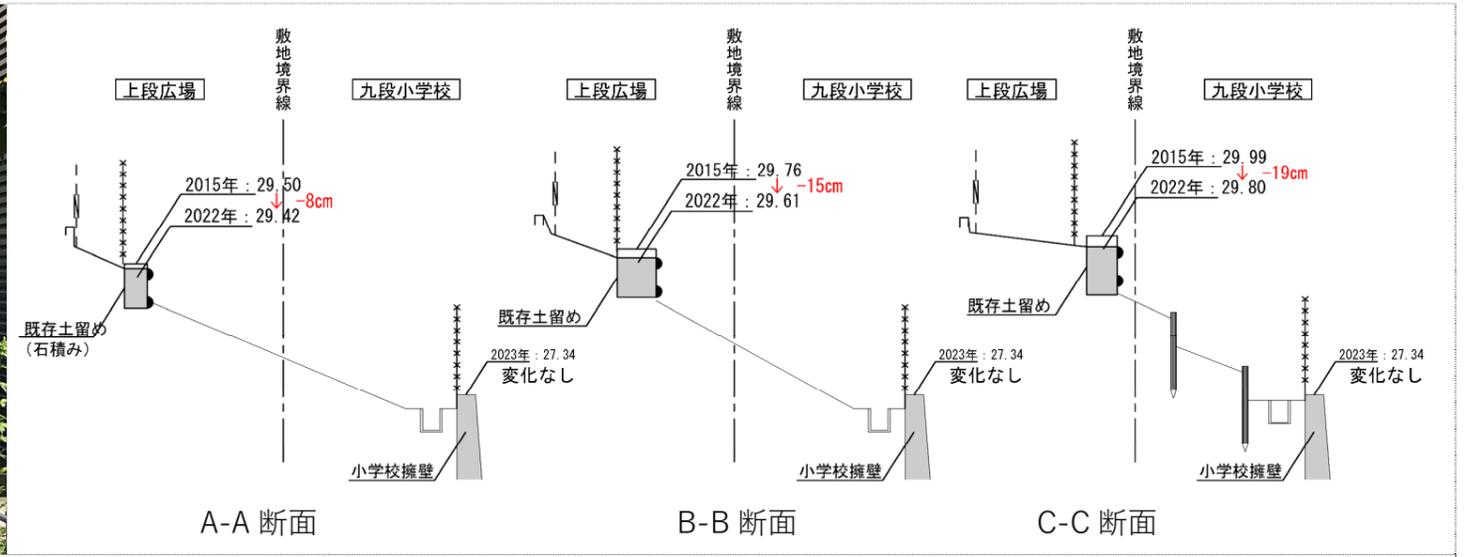
・土壌汚染対策工事を進めていく中で、既存土留めの周辺樹木の伐採や柵等の撤去を行ったところ、以下の劣化が確認されました。

- 1 土留め天端のひび割れ（8か所）
- 2 土留め側面のコンクリートの剥がれ
- 3 土留め下の1.8mに渡る空洞
- 4 土留め天端の8~19cm沈下（右図 2015年と2022年の測量結果の比較による）

・小学校擁壁については、所管課より施工後の擁壁に特に変化はみられないとの回答を得ています。



土留め状況



4 天端の沈下状況（測量値）



1 天端のひび割れ状況(8箇所)

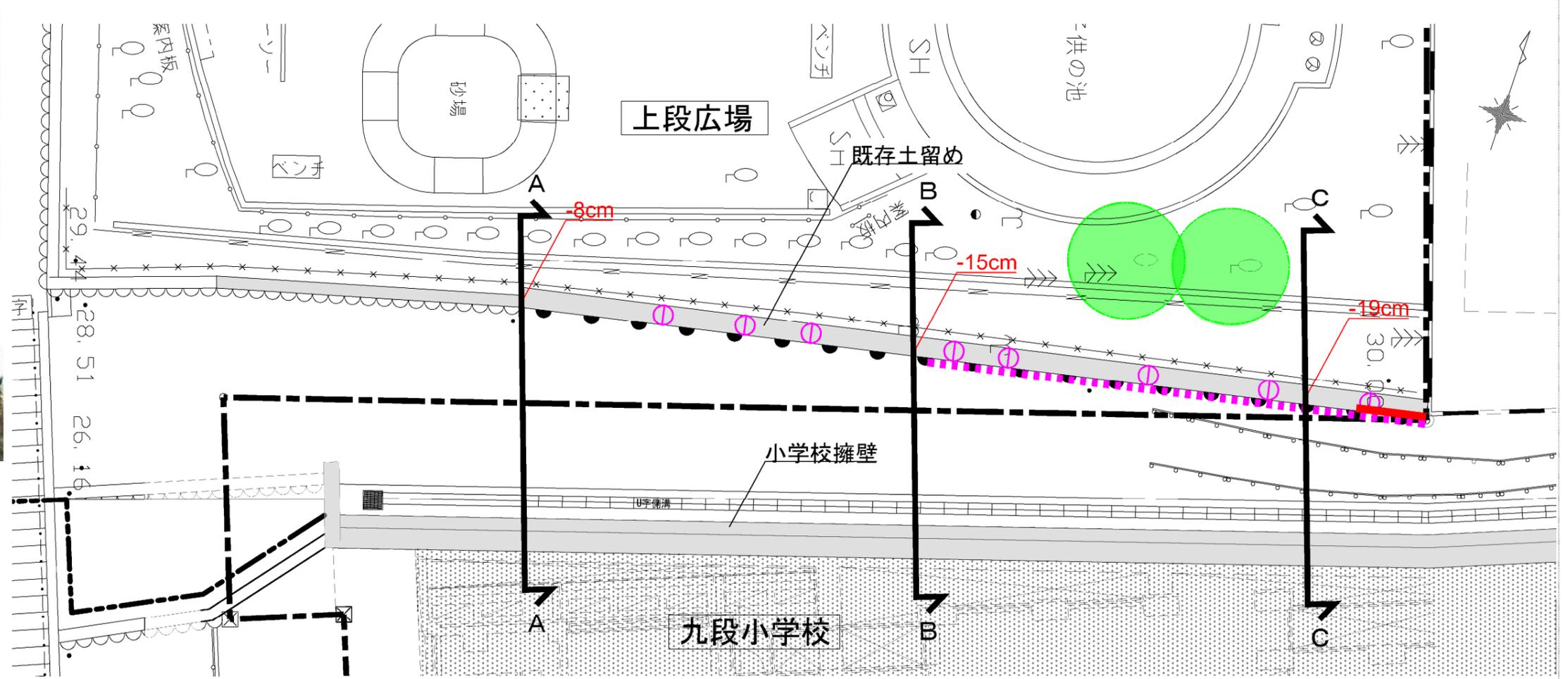


2 側面のコンクリートの剥がれ(約18m)



3 土留め下の空洞

(約1.8mにわたり最大20cm)



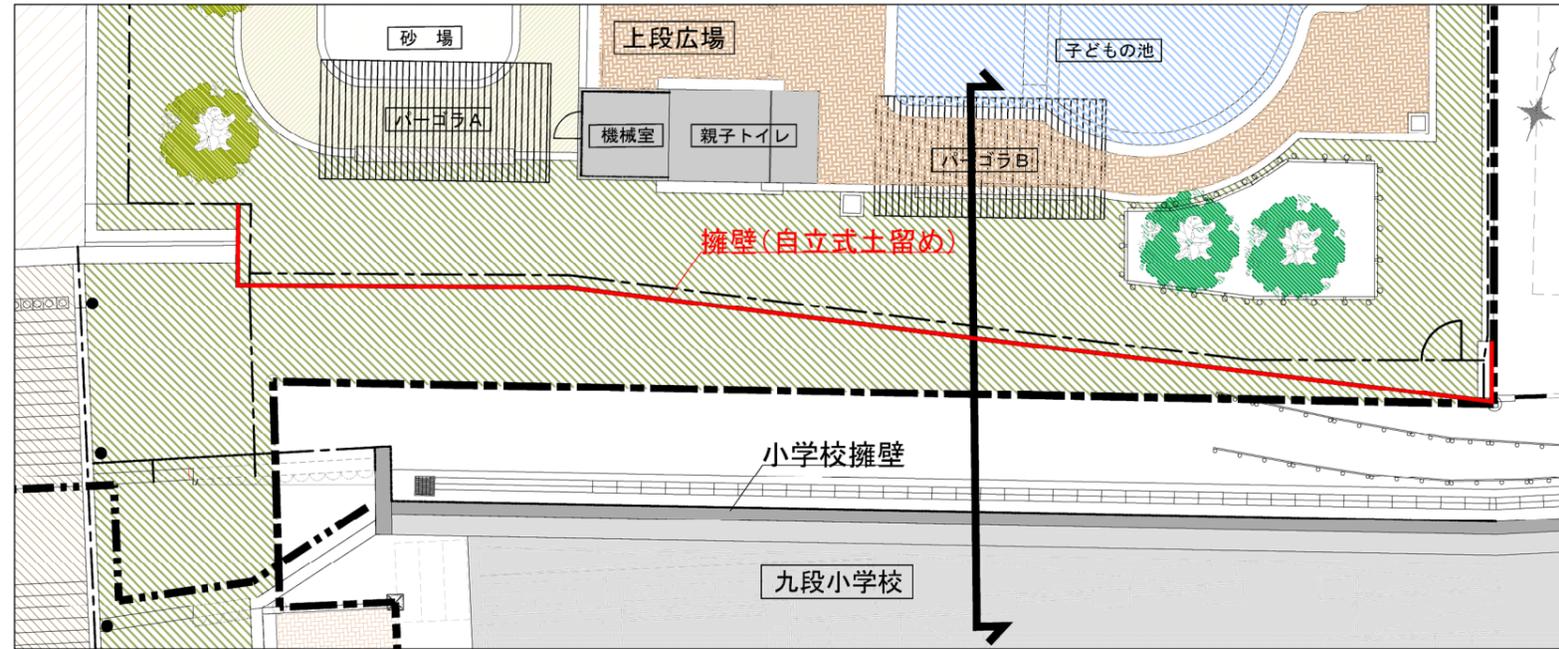
- ① : 1 天端のひび割れ箇所(8箇所)
- ② : 2 側面のコンクリート剥がれ範囲
- ③ : 3 土留め下の空洞範囲
- cm : 4 天端の沈下状況(2022年9月測量値-2015年11月測量値)

2 報告事項

② 新規擁壁（自立式土留め）工事

- ・土質調査（ボーリング調査）結果より、擁壁設置付近の地盤は支持力が低く、また斜面地であるため、掘削範囲を最小限にできる自立式土留めを採用しました。

■擁壁整備計画平面図



(3) 地盤状況に対する対応

- ・公園改修工事に先立ち行った土質調査において、上段広場において想定していた支持力に満たない箇所が存在することがわかり、設置する施設の構造等の確認見直しを行いました。
- ・また撤去工事において土壌内に瓦礫やコンクリート塊が埋まっていることも確認され、以下の理由から、対応するための時間を確保しています。
 - ・土壌に混ざっている瓦礫やコンクリート塊は分別処理を行う必要があること。
 - ・以前縁石として設置されていたレンガ（第22回協議会にて報告）が見つかったことがあり、今後も同様の埋設物等が見つかった場合には、保全方法や活用方法について検討しながら工事を進めていく必要があること。
 - ・新たに井戸らしき縦穴が見つかり、そのような場合は専門家の立会い等を行い、安全に処理する必要があること。



撤去工事時に出てきた瓦礫類

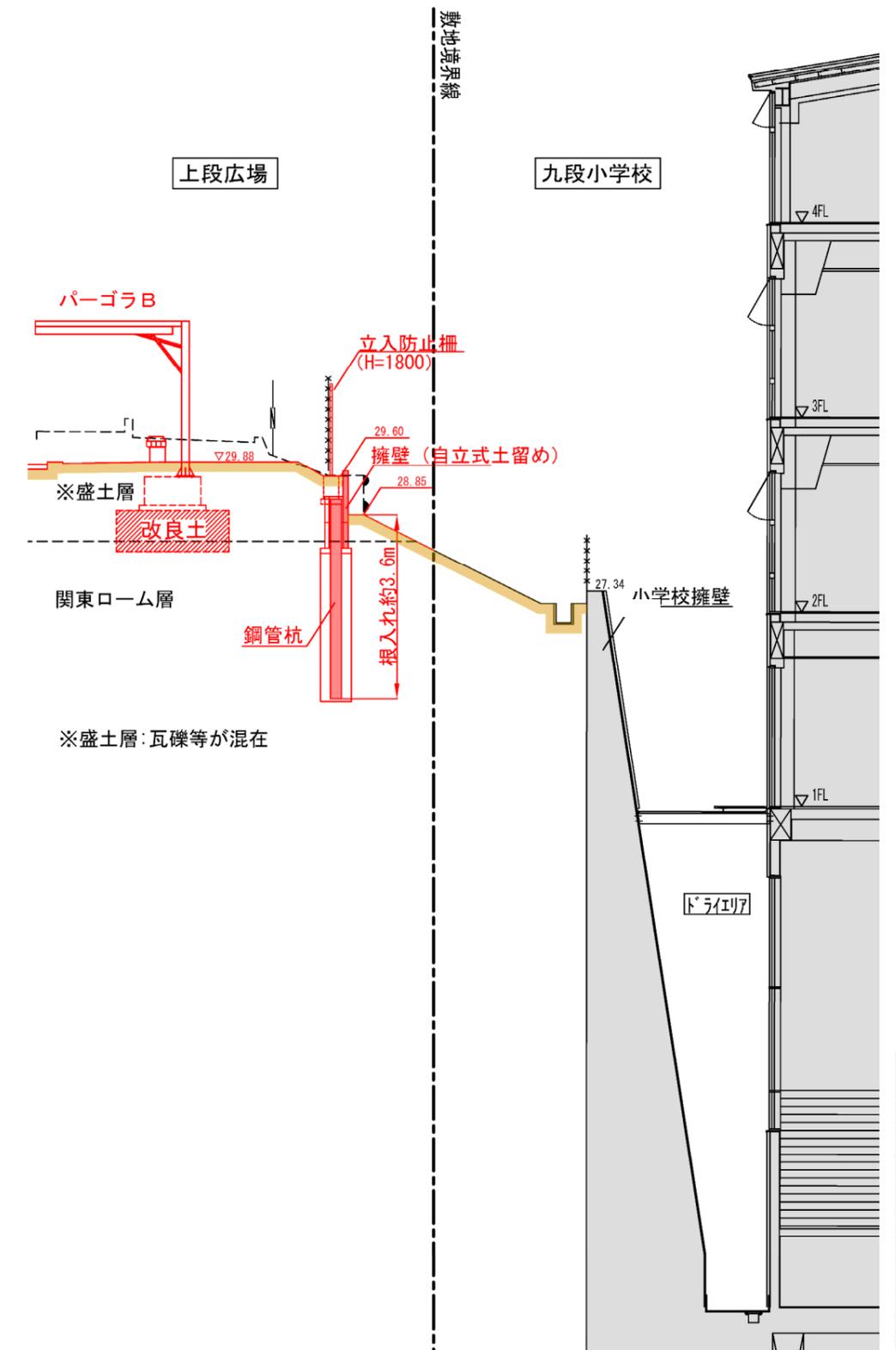


土壌中のコンクリート塊の状況



井戸らしき縦穴（深さ約7m）

■斜面整備断面図



※盛土層：瓦礫等が混在